

各 位

会社名 長瀬産業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 朝倉 研二
 (コード番号 8012 東証プライム市場)
 問合せ先 執行役員 経営管理本部長 清水 義久
 (TEL 03-3665-3103)

中期経営計画 ACE 2.0 における非財務目標の決定に関するお知らせ

当社は、2032年（創業200年）の「ありたい姿」“温もりある未来を創造するビジネスデザイナー”を実現するため、2032年からバックキャストした中期経営計画 **ACE 2.0** を策定（2021年度～2025年度）し、“質の追求”をコンセプトに経済価値と社会価値を両輪で追求しています。このたび取締役会において、「ありたい姿」の実現に向け特定したマテリアリティ（重要課題）に対する取組みを定量的に評価し、モニタリングしていく非財務目標（KPI）を定め、本日、下記について決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 非財務目標（KPI）の決定

テーマ	KPI		
従業員 エンゲージメント向上*	対象	グループ会社	定期的にエンゲージメントサーベイを実施している割合：100%
		長瀬産業(単体)	エンゲージメントサーベイトータルスコア：60以上
カーボンニュートラル	対象	連結	Scope 1,2 削減率：37%以上（2013年比）
			再生可能エネルギー発電・購入による削減量：35,000 t 以上（累計）
		長瀬産業(単体)	Scope 2 ゼロエミッション

※連結子会社を対象とし、Prinova グループは1社として算定。

※2021年度：グループ会社の実施割合は41%（24社（1回のみの実施含む））。長瀬産業（単体）におけるエンゲージメントサーベイトータルスコアは、52.4。

2. KPI 設定の背景

従業員エンゲージメント向上

NAGASE グループでは、持続的成長を実現するためには従業員エンゲージメントの向上が最重要と認識し、従業員エンゲージメントを「会社（組織）と従業員が相互に理解し合い、お互いを高め合う状態」と定義しました。中期経営計画 **ACE 2.0** の初年度にあたる2021年9月に、当社では現状把握と向上施策の策定を目的として、対会社8領域、対上司4領域、対職場4領域の合計16領域で構成されるエンゲージメントサーベイを実施しました。また、トップマネジメントの関与、主体性や透明性等に関わる事項を定めた実施ガイドラインを定め、グループ全体で着実に施策を進めてまいります。

カーボンニュートラル

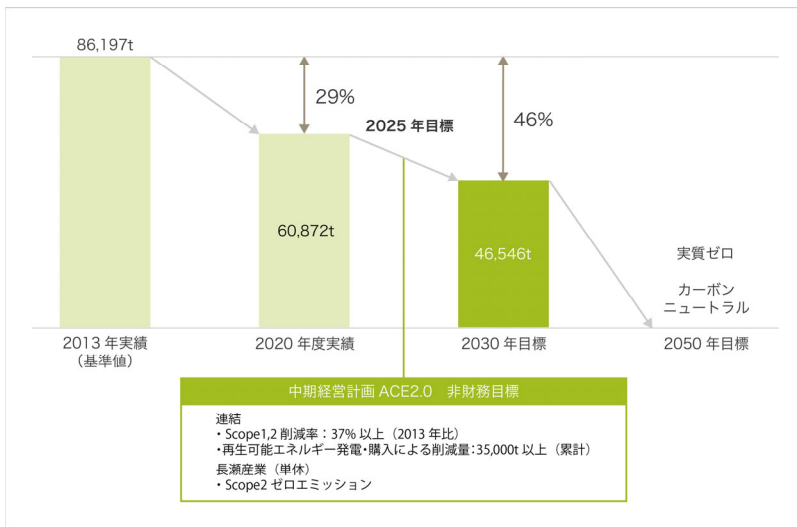
NAGASE グループは、マテリアリティ（重要課題）において「社会・環境課題の解決とグローバルイノベーション」を掲げています。NAGASE グループにとって、気候変動への対応は重要な課題と認識しており、2050年までにGHG排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルの達成（Scope1,2）を掲げています。NAGASE グループは商社機能に加え、製造・加工機能を有することから、「商社業／製造業」と「可視化／削減」の2軸4象限に分類し、目標達成に向け取り組んでいきます。

(参考1：従業員エンゲージメントサーベイの内容)

対会社	1	会社基盤	対上司	1	情報提供
	2	理念戦略		2	情報収集
	3	事業内容		3	判断行動
	4	仕事内容		4	支援行動
	5	組織風土	対職場	1	外部適応
	6	人的資源		2	内部統合
	7	施設環境		3	変革活動
	8	制度待遇		4	継承活動

出典：株式会社リンクアンドモチベーション

(参考2：NAGASE グループ GHG (温室効果ガス) 排出量実績と目標 (Scope1,2))



(参考3：NAGASE グループの提供価値およびマテリアリティ)

当社は、2032年（創業200年）の「ありたい姿」“温もりある未来を創造するビジネスデザイナー”の実現に向け、NAGASEグループにとって重要なステークホルダーと各ステークホルダーに提供したい価値、それらを実現するためのマテリアリティ（重要課題）を下記のとおり特定しています。

	提供価値	マテリアリティ(重要課題)	関連するSDGs
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 安全で働きやすい職場環境 従業員が明るく、楽しく、生き活きと仕事ができる環境 従業員とその家族が誇りを持って語れる企業集団 	<p>【多様な人材の活用、職場環境と企業文化の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進技術を用いた生産性向上や多様な人材の活用 グループとして多様な背景を持つ従業員が、お互いを尊重し、活性化し合う職場環境の提供と企業文化の醸成 	
取引先	<ul style="list-style-type: none"> 取引先を深く理解し、幅広い可能性を追求できる協力関係の構築 バリューチェーン全体で取組むべき課題や社会課題に対するソリューション 	<p>【先端技術を活用した新たな価値創造】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先端技術と取引先ネットワークを活用した新たな価値創造 複雑性が高まる取引先課題の真因理解に基づく、幅広い解決手法の提供 	
社会・消費者	<ul style="list-style-type: none"> 適法・倫理経営を実践し、地域社会の発展に貢献 サプライチェーンに関わる人々の権利、健康、快適さに配慮 安心・安全で温もりある社会実現に向けた製品・サービス 	<p>【社会・環境課題の解決とグローバルゼーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動、食料・水不足等、安心・安全を脅かす課題の解決 食の安全の確保：向上にバイオやAI等の先端技術を活用して貢献 先進国を中心とした高齢化進行による健康維持に対する需要の充足 グローバルゼーションの加速、地域毎の社会課題解決への寄与 	
株主	<ul style="list-style-type: none"> 透明性の高い経営体制と適時・適正な情報開示による信頼と安心 経済価値・社会価値の向上を両立し、継続的な事業創造による企業価値の最大化 	<p>【コーポレート・ガバナンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 透明性の高いコーポレート・ガバナンスを確立 経済価値と社会価値の両立による持続的な企業価値向上 	

以上